

事業報告書

平成19年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

(1) 農作物共済
(引 受)

区分		項目	組 合 数	組 合 員 数	引 受 面 積	引 受 収 量 基準生産金額	共 済 金 額
水 稻	一 筆		3	33,720 ^人	2,267,434 ^a	77,646,056 ^{kg}	16,517,467,055 ^円
	半相殺		3	130	25,953	1,112,194	236,897,322
	全相殺		3	18	15,895	769,186	163,836,618
	品 質		1	22	11,122	110,174,298 ^円	94,991,503
	計		3	33,890	2,320,404		17,013,192,498
麦	20年産	一 筆	1	6	894	11,078 ^{kg}	544,044
		災害収入	2	156	88,536	133,155,632 ^円	118,181,785
		計	3	162	89,430		118,725,829
	19年産	一 筆	1	11	953	10,824 ^{kg}	479,088
		災害収入	2	179	82,747	107,555,394 ^円	95,654,222
		計	3	190	83,700		96,133,310

区分		項目	保 険 金 額	通常歩合保険金額	徴 収 保 険 料	交 付 金	手 持 保 険 料
水 稻	一 筆		16,276,769,551 ^円	80,232,499 ^円	28,600,578 ^円	24,671,477 ^円	53,272,055 ^円
	半相殺		230,609,841	2,095,827	1,634,202	294,952	1,929,154
	全相殺		158,995,068	1,613,848	323,325	977,151	1,300,476
	品 質		92,672,472	773,009	212,067	376,119	588,186
	計		16,759,046,932	84,715,183	30,770,172	26,319,699	57,089,871
麦	20年産	一 筆	514,257	9,928	858	5,820	6,678
		災害収入	107,632,482	3,516,433	0	3,106,085	3,106,085
		計	108,146,739	3,526,361	858	3,111,905	3,112,763
	19年産	一 筆	452,858	8,743	1,164	4,716	5,880
		災害収入	87,180,689	2,824,510	0	2,500,315	2,500,315
		計	87,633,547	2,833,253	1,164	2,505,031	2,506,195

引受の状況

① 水稲の部

水田農業構造改革対策により、対前年度組合員数2,309人、引受面積223ha、共済金額969,377千円の減となった。

② 麦の部

水田経営所得安定対策により、対前年度組合員数は28人の減となったが、引受面積は57ha、共済金額は22,593千円の増となった。

(被 害)

区分		項目	被害組合数	被害組合員数	共 済 減 収 量 生産金額の減少額	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額
水 稻	一 筆		3	2,050 ^人	525,716 ^{kg}	111,877,444 ^円	28,181,525 ^円	0.7 [%]
	半相殺		1	1	308	65,604	16,401	0.0
	全相殺		3	9	62,634	13,341,042	8,581,352	8.1
	品 質		1	8	1,326,457 ^円	1,326,457	331,614	1.4
	計		3	2,068		126,610,547	37,110,892	0.7
麦	一 筆		1	2	199 ^{kg}	9,353	2,338	2.0
	災害収入		2	15	920,162 ^円	836,215	209,053	0.9
	計		3	17		845,568	211,391	0.9

被害の状況

① 水稲の部

移植期の渇水により植付不能が県下各地で発生。6月から7月の低温・日照不足により分けつが抑制され、穂数の減となった。8月以降は高温のため登熟不良等が発生した。収穫期には県下の中山間地において獣害が発生した。また、10年振りに大発生したトビイロウンカにより瀬戸内中心に坪枯れが発生した。一筆5割、全相殺方式9割において異常災害となったものの、他の方式は通常災害となった。

② 麦の部

播種期や1月～2月の降雨により土壌湿潤害が発生したものの、収穫期の好天に恵まれ一筆、災害収入共済方式とも通常災害となった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
				再 保 険 金	手 持 保 険 料 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他
水稲	一 筆	12月21日	28,181,525	184,460	31,183,624	0	0	0
	半 相 殺	12月21日	16,401	0				
	全 相 殺	12月21日	8,581,352	5,742,808				
	品 質	12月21日	331,614	0				
	計		37,110,892	5,927,268	31,183,624	0	0	0
麦	一 筆	9月11日	2,338	0	211,391	0	0	0
	災害収入	12月18日	209,053	0				
	計		211,391	0	211,391	0	0	0

(2) 家 畜 共 済

(引 受)

区分	項目	有 資 格 頭 数	事業計画 頭 数	引受頭数	引受頭数	共 済 金 額	保 険 金 額	再 保 険 金 額
					事業計画頭数			
乳用牛等 胎 児		4,366	4,170	3,848	92.9	482,128	385,702,400	241,064,000
		3,380	950	911				
肉用牛等 胎 児		17,828	15,824	16,268	106.7	3,163,325	2,530,660,000	1,581,662,500
		4,775	4,700	5,625				
馬		30	24	26	108.3	6,734	5,387,200	3,367,000
種 豚		1,942	900	267	29.7	20,690	16,552,000	10,345,000
肉 豚		15,902	2,900	2,851	98.3	22,808	18,246,400	11,404,000
計		48,223	29,468	29,796	101.1	3,695,685	2,956,548,000	1,847,842,500

区分	項目	徴 収 保 険 料	組 合 交 付 金	納 入 再 保 険 料	交 付 金	手 持 保 険 料
乳用牛等 胎 児		2,547,500	0	0	16,613,189	19,160,689
肉用牛等 胎 児		6,525,968	233,385	12	25,302,271	31,594,842
馬		184,612	0	0	43,670	228,282
種 豚		523,310	0	138,476	0	384,834
肉 豚		1,606,684	0	401,989	0	1,204,695
計		11,388,074	233,385	540,477	41,959,130	52,573,342

引受の状況

飼料の高騰により酪農家の廃業に加速がかかり乳用牛で頭数252頭、共済金額で27,694千円の引受減となった。また酪農家の肉用牛等への飼養転換や、新規地区の加入により、肥育牛で466頭、54,865千円、その他の肉用牛で261頭、16,841千円の増加となった。しかしながら種豚の引受が大幅に減少したため、全体で75頭減少し共済金額も32,758千円の減少となった。

(事 故)

区分	項目	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払保険金	件数	支払保険金
乳用牛等 胎児		頭 205	頭 141	頭 405	円 35,886,020	件 3,539	円 16,314,964
		59					
肉用牛等 胎児		247	64	522	45,832,554	8,815	25,745,145
		211					
馬		3	0	3	539,927	2	1,064
種豚		34	0	34	2,073,246	0	0
肉豚		400		400	2,128,927		
計		1,159	205	1,364	86,460,674	12,356	42,061,173

事故の状況

種豚以外の畜種で死廃・病傷事故とも増加し、死廃で41頭、保険金1,972千円、病傷158件、保険金1,901千円とそれぞれ増加した。また、死廃事故のうち廃用事故が減少し、死亡事故が増加した。本年度から乳用牛でヨーネ病の全頭検査が始まったが発生は6頭にとどまった。

(損 害 防 止)

実施種目		対象頭数 回数	経費概算	摘 要
特定損害防止		頭 4,027	千円 4,026	繁殖障害、ケトン症、乳房炎、金属異物性疾患、尿石症、肝蛭症、ピロプラズマ病
一般損害防止	健康検査	8,139	9,152	一般健康検査、繁殖牛の検診、多頭農家の巡回検診
	予防衛生措置			畜舎消毒、ボバクチン、ビタミン剤、ワクチン等による予防措置
	飼養管理指導			巡回時における飼養管理指導
	講習会			畜産研修会、講習会等

(臨床検査室実績)

項目 区分	血液検査	細菌検査	ビタミン測定	糞便検査	外部寄生虫	計
検査件数	115件	49件	0件	0件	0件	164件
経費概算	94,460円	2,450円	0円	0円	0円	96,910円

(家畜診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格 頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
東部地区	3人	10,101頭	5,201頭	1,063件	539件	3,301頭	954頭	3,997,365円	
中部地区	4	5,479	4,813	800	483	1,491	1,204	1,256,298	
阿東地区	3	2,333	2,538	1,843	2,660	2,005	687	1,656,096	
北部地区	3	5,834	3,882	1,955	1,127	1,342	1,182	1,241,339	

(3) 果樹共済

(引受)

年産	項目 区分	組合 数	組合 員数	引受 面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収 保険料	交付金又 は納入再 保険料	手持 保険料
					(基準生産金額)					
20	うんしゅう みかん 減収総合	3	177	4,562 a	510,920 kg	17,556,000 円	17,036,982 円	503,385 円	△107,224 円	396,161 円
19	うんしゅう みかん 特定危険	1	77	3,454	551,990	16,475,000	15,715,172	104,780	34,598	139,378
21	なつみかん 減収総合	1	2	43	3,612	149,000	144,222	2,718	2,205	4,923
20	なし 災害収入	1	29	2,208	141,623,182 円	113,282,000	110,261,901	2,392,515	725,005	3,117,520
	計	3	285	10,267		147,462,000	143,158,277	3,003,398	654,584	3,657,982
19	うんしゅう みかん 減収総合	3	199	5,653	615,607	19,885,000	19,287,283	566,893	△102,971	463,922
	なつみかん 減収総合	1	3	62	5,083	165,000	159,591	4,228	2,292	6,520

引受の状況

① うんしゅうみかん(減収総合)

栽培農家の高齢化や廃園等により、対前年度組合員数22人、引受面積1,091 a、共済金額2,329千円の減となった。

② うんしゅうみかん(特定危険)

栽培農家の高齢化や廃園等により、対前年度組合員数8人、引受面積452 a、共済金額4,356千円の減となった。

③ なつみかん(減収総合)

対前年度組合員数、引受面積の増減はなかったものの、共済金額は24千円の増となった。

④ なし(災害収入共済)

19年度(20年産)から新規導入、組合員数29戸、引受面積2,208a、共済金額113,282千円となった。

(被 害)

区分 \ 項目	被害組合数	被害組合数 員 数	認定減収量	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
うんしゅうみかん 減 収 総 合	0	人 0	kg 0	円 0	円 0	% 0.0
うんしゅうみかん 特 定 危 険	0	0	0	0	0	0.0
な つ み か ん 減 収 総 合	0	0	0	0	0	0.0
計	0	0	0	0	0	0.0

被害の状況

- ① うんしゅうみかん（減収総合）
被害無し。
- ② うんしゅうみかん（特定危険）
被害無し。
- ③ なつみかん（減収総合）
被害なし。

(支 払)

区分 \ 項目	支払月日	実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源					実 支 払 保 険 金
			再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
うんしゅう み か ん 減 収 総 合	—	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	% 0.0
うんしゅう み か ん 特 定 危 険	—	0	0	0	0	0	0	0.0
な つ み か ん 減 収 総 合	—	0	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0	0.0

(4) 畑作物共済
(引 受)

年産	畑作物共済再保険区分		組合数	組員数	引 受 積 面	引 受 収 量 基準生産額	共 済 金 額	保 険 金 額	徴 収 保 険 料	交 付 金	手持保険料
	区分	共済目的									
19	第1区分	大豆	3	224人	50,786 ^a	556,917 ^{kg}	86,890,414 ^円	78,201,372 ^円	5,453,343 ^円	545,799 ^円	5,999,142 ^円
20	第2区分	茶	1	10	1,246	13,364,075 ^円	5,490,000	4,941,000	101,842	80,234	182,076
計			3	234	52,032	/	92,380,414	83,142,372	5,555,185	626,033	6,181,218
19	第2区分	茶	1	10	1,356	16,036,460 ^円	6,202,000	5,581,800	115,051	90,638	205,689

引受の状況

① 大 豆

水田経営所得安定対策により、対前年度引受面積は108haの増となったが、組員数189人、共済金額1,350千円の減となった。

② 茶

新規引受が1人増えたが、規模の大きい農家が1戸廃業したため面積は110a減少した。

(被 害)

畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組員数	共済減収量	共 済 金	保 険 金	共 済 金
区 分	共済目的			共済減収金額			共 済 金 額
第1区分	大 豆	3	39人	25,356 ^{kg}	3,348,804 ^円	3,013,921 ^円	3.9%
第2区分	茶	1	6	1,184,590 ^円	658,856	592,970	10.6
計		3	45	/	4,007,660	3,606,891	4.3

被害の状況

① 大 豆

梅雨期の降雨による雨害湿潤害が発生、夏場には高温少雨による干害が発生した。また、獣害や虫害も発生したが、通常災害となった。

② 茶

春先の寒害や3回に亘る凍霜害が発生し、異常災害となった。

(支 払)

畑作物共済再保険区分		支払月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
区分	共済目的			再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
第1区分	大豆	3月18日	3,013,921 ^円	0 ^円	3,013,921 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	100.0%
第2区分	茶	9月12日	592,970	287,581	205,689	99,700	0	0	100.0
計		/	3,606,891	287,581	3,219,610	99,700	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済

(引 受)

項目 区分	組合数	組 員 合 数	引 棟 受 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	保険金額	徴 収 保 険 料	交付金	手 持 保 険 料	
ガ ラ ス I 類	—	—	—	m ² —	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —	円 —	
II類	3	10	26	24,710	169,543,000	135,624,000	122,061,600	203,534	159,556	363,090	
プラスチック I類	1	1	1	216	219,000	175,000	157,500	2,680	2,080	4,760	
II類	3	1,575	5,169	1,006,554	919,840,000	733,511,000	660,159,900	15,285,047	9,427,603	24,712,650	
III類	3	147	237	134,760	265,209,000	209,488,000	188,539,200	2,309,486	1,965,496	4,274,982	
IV類	(甲)	3	83	131	65,294	136,024,000	108,754,000	97,878,600	981,649	913,506	1,895,155
	(乙)	3	41	57	33,103	167,204,000	133,733,000	120,359,700	604,198	558,051	1,162,249
V類	3	7	9	4,171	17,968,000	14,370,000	12,933,000	38,221	40,414	78,635	
VI類	3	86	367	67,579	48,928,000	38,971,000	35,073,900	466,426	366,868	833,294	
計	3	1,950	5,997	1,336,387	1,724,935,000	1,374,626,000	1,237,163,400	19,891,241	13,433,574	33,324,815	

引受の状況

生産農家の高齢化に伴う廃業や経営規模縮小等により、対前年度棟数187棟、共済金額では83,341千円の減となった。

(被 害)

項目 区分	被 害				被 害 額	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額	
	組合数	組 員 合 数	棟 数	附 帯 施設数					
ガ ラ ス I 類	—	—	—	基 —	円 —	円 —	円 —	% —	
II類	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
プラスチック I類	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
II類	3	128	174	0	7,060,868	5,631,218	5,068,016	0.8	
III類	2	4	4	0	685,936	548,659	493,792	0.3	
IV類	(甲)	1	2	3	0	126,321	100,969	90,871	0.1
	(乙)	2	2	2	0	128,634	102,906	92,614	0.1
V類	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
VI類	1	1	1	0	30,744	24,379	21,941	0.1	
計	3	137	184	0	8,032,503	6,408,131	5,767,234	0.5	

被害の状況

台風等の大きな被害が少なかったため、被害棟数、支払共済金とも前年度を大きく下回った。

一方でメロン、トマト等の内作物の被害が棟数、支払共済金で18棟、1,281千円と全体の支払共済金の約2割を占めている。

(支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
	再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
円 5,767,234	円 483,225	円 5,284,009	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(6) 任 意 共 済

1. 建 物 共 済

(引 受)

① 農 家 建 物

項目 区分	加入棟数	保険金額 (共済金額)	保険料(共済掛金)		1棟当たり 平均保険 (共済)金額	再共済 掛 金	再共済 手数料 収 入
			純保険料 (純共済掛金)	賦 課 金			
保険関係	棟 66,888	円 642,041,700,000	円 378,425,990	円 49,654,575	万円 960	円 193,465,515	円 78,182,807

引 受 の 状 況

火災共済の共済金額は、対前年度96.3% (218億円減) となったものの、総合共済の共済金額は、対前年度111.4% (70億円増) となった。

② 団 体 建 物

加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平 均 共 済 金 額
		純共済掛金	賦 課 金	
棟 17	円 302,500,000	円 135,708	円 75,016	万円 1,779

(事 故)

① 農家建物

事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) ^(イ)	支払保険金(共済金) ^(ロ)		再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
		火 災	総 合		
棟 333	円 642,041,700,000	円 292,412,530	円 55,088,758	円 104,250,214	% 0.054

事故の状況

火災共済、総合共済とも事故は、失火による火災53棟(うち全焼32棟)及び落雷が主なもの。

② 団体建物

事故棟数	加入総共済金額 ^(イ)	支払共済金 ^(ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
		火 災	
棟 1	円 302,500,000	円 457,793	% 0.151

事故の状況

落雷による事故が発生した。

③ 建物共済原因別事故発生状況

農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) ^(イ)	支払保険金 (共済金) ^(ロ)	再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
(火災共済)	棟	円	円	円	%
失火	42	573,307,320,000	280,081,808	84,024,514	0.051
落雷	212		11,039,132	3,311,627	
盗難毀損	7		24,703	7,409	
車の飛び込み	2		154,010	46,202	
その他	5		1,112,877	333,862	
計	268	573,307,320,000	292,412,530	87,723,614	0.051
(総合共済)					
失火	11	68,734,380,000	48,403,912	14,521,169	0.080
風水害	18		3,463,931	1,039,172	
落雷	21		2,586,280	775,875	
盗難毀損	9		179,598	53,876	
車の飛び込み	2		14,322	4,295	
その他	4	440,715	132,213		
計	65	68,734,380,000	55,088,758	16,526,600	0.080
合計	333	642,041,700,000	347,501,288	104,250,214	0.054

2. 農機具共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	保険金額 (共済金額)	保険料 (共済掛金)		1台当たり 平均保険金額 (共済金額)
				純保険料 (純共済掛金)	賦課金	
保険関係		台 7,912	円 9,684,270,000	円 34,497,308	円 3,667,420	万円 122

引受の状況

対前年度台数で31台減となったものの共済金額は37,267万円の増となった。また平均共済金額も5万円引き上げられた。

(事 故)

事故台数	加入総保険金額 (共済金額)(イ)	支払保険金(共済金)(ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
台 298	円 9,684,270,000	円 26,782,952	% 0.277	

事故の状況

機種別にはコンバイン108台、トラクタ111台、田植機17台、その他62台で、対前年度支払共済金129万円の減となった。事故の原因は、接触、衝突、稼動中の事故が主なもの。

(7) 農機具更新共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	保険金額 (共済金額)	減価共済金	保険料(共済掛金)			
					純保険料(純共済掛金)		賦課金	計
					損害部分	減価部分		
保険関係		台 165	円 250,570,000	円 219,920,000	円 880,982	円 35,805,147	円 250,845	円 36,936,974

引受の状況

新規引受30台、1台当たり平均共済金額は、152万円となった。

(事故・期間満了)

事故台数	期間満了 台数	加入総保険金額 (共済金額)(イ)	支払保険金(共済金)		被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			共済事故によるもの(ロ)	期間満了によるもの		
台 9	台 22	円 250,570,000	円 763,175	円 18,300,000	% 0.305	

事故・期間満了の状況

事故の内訳は、コンバイン3台、トラクタ6台で、接触、稼動中の事故、22台が期間満了のもの。